

災害時参集訓練の実施について

北消防団長尾支団本部

はじめに

災害発生時において、被害を軽減し、的確な対応を行うためにその初動対応は大変重要です。

長尾支団においても重要な訓練事項として取り組んでいきたいと考えております。今回は、「1. 17市民防災の日」に伴う訓練として、大地震の発生を想定し、召参集時の連絡および適切な資機材の準備、そして被災状況の把握と報告要領等を重点においた訓練を行います。

○ 実施日時

実施日 平成21年1月18日(日)
時間 午前8:20-11:00

○ 場所

訓練警戒域 長尾支団所轄地域
参集場所(訓練本部) JA北神長尾支店

○ 訓練想定

平成21年1月18日午前8時10分、阪神北部を震源とする強い地震が発生。長尾町周辺地域での震度は6弱以上と発表された。

○ 訓練次第

1. 午前8時20分、長尾支団長の指令を受けて、本部担当者は各分団長に対し、『大地震発生に伴い、直ちに全団員を召集し、警戒詰所を開設すること。管轄エリア内の被災状況の把握・情報収集を行うこと。各分団長は、午前9時を目標にJA北神長尾支店駐車場に参集せよ。』との出動指令メールを配信。
2. 各分団長はメールを確認したことを返信または電話連絡。
3. 各分団員に対し出動指令を伝達し召集する。
4. 詰所を開設後、各分団長ほか1名は、JA北神長尾支店駐車場に緊急開設した支団本部指揮所へ参集し、出動部隊および被災状況の報告を行う。
5. 黙 禱(阪神淡路大震災犠牲者に捧げる鎮魂)
6. 訓練評価 重点項目
 - (1) 非常召集の連絡は円滑に行われたか。
 - (2) 各団員は、詰所への参集時に被災状況等の確認を行ったか。
 - (3) 準備資機材は適切であったか。
7. 支団長訓示(講評)
8. 防災広報パトロール
※訓練本部を解散後、各分団ごとに別紙要領にて実施